



情報技術分野の標準のWebでの無償公開

成田博和 富士通(株)

私は情報技術の国際標準化を担当するISO/IEC JTC 1の総会に1996年12月の第10回パリ総会から2006年11月の第21回南ア総会まで毎回参加してきたが、JTC 1で開発した標準(規格のドキュメントそのもの)のWebでの無償公開の件は必ず議題となってきた。

最初にこの件が議題となったのは、私が参加を開始する直前の第9回シドニー総会とのことで、JTC 1の上部団体であるISOとIECにOSIレファレンスモデル関連の標準の無償公開の申請を出すという決議が行われている。JTC 1総会ごとに申請を出されては、承認する側も大変ということもあり、一定の基準を満たすものは上部団体の承認を得なくてもJTC 1自身の判断でWeb上で無償公開できるように、いろいろ紆余曲折はあったが、ISOとIECが共通のJTC 1向けの標準の公開基準を定め、2004年9月以降適用され、現在に至っている。

第21回JTC 1総会でも最新の公開基準の徹底や基準を満たすものの無償公開を決定する決議を行った。この原稿の執筆時点で無償公開されているJTC 1の標準(以下のURL参照)はISO/IEC 10646 (UCS: Universal Multiple-Octet Character Set)を含めて300近くある。

http://isotc.iso.org/livelink/livelink/fetch/2000/2489/lttf_Home/PubliclyAvailableStandards.htm

公開基準としては、コンソーシアム等の他サイトからすでに無償で利用可能なものや標準の販売の役に立つレファレンスモデルなどが含まれているが、基準の決定にあたっては、①無償アクセスによる収入への影響が取るに足りないこと、②他のJTC 1ドキュメントの販売を助成すること、③JTC 1の活動の認知と優位を強化することが挙げられている。①に注目する必要があるのだが、ISO、IEC、さらには多くの各国の標準化団体は長年にわたって規格の販売収入に頼るビジネスモデルで運営されているためにWeb上での無償公開により、収入が減ることは受け入れられないという背景がある。

一方、情報技術分野では、JTC 1のような公的な標準化活動だけでなく、コンソーシアムなどデファクトの標準化活動が活発であり、その開発する標準を開発途上の標準案まで公開するかどうかは団体ごとにいろいろなスタンスがあるが、最終的な標準の多くはWeb上で無償公開されている。JTC 1の標準化活動参加者が活動のアウトプットである標準を無償公開して広めたいと思うのは

当然であり、過去10年にわたりJTC 1はその親機関である保守的なISO、IECとWebでの無償公開を求めて戦ってきた(親機関なので形式的にはお願いしてきた)。日本もJTC 1標準のWebでの無償公開を求める寄書を提出し、この提案はISOとIECの共通のJTC 1向けの標準の公開基準に反映されているし、標準案ドラフト(WD/CD/FCD)は委員会の判断で無償公開できるようにもなっているが、最終的な標準については、前述の公開基準を満たさなくてはならないという制約は残っている。なお、標準案のドラフトの無償公開はISO、IECにより1997年に試行を許され、その後、慣例化しているが、厳密には試行期間は過ぎており、2004年のJTC 1総会で日本はこれを正規のプロセスとしてISO、IECに承認してもらうべきとの寄書を提出したが、現状許されているのであるから、寝た子を起こすことはないのではないかと他の国の示唆もあり、深くは追求せず、今日に至っている。

標準のWeb上での無償公開を当たり前としているコンソーシアムのビジネスモデルは、その標準を広めることが第一優先であり、標準の販売収入に依存しないで、会費などその他の収入で運営する形になっている。たとえば、IEEE802委員会では、スポンサーのファンディングの下に、標準が承認された後、一定期間経過後に無償公開としている。早期に標準を見たい人には有償での購入かメンバとなるなど応分の負担を要求するモデルである。

JTC 1活動の認知度を向上させ、その開発する標準を広めるためには、JTC 1は一層、無償公開を進めていく必要があると思う。ISO、IEC自体のビジネスモデルを変えていかないと実行に移せないのがネックではあるが…ちなみに、ITU-Tでは2007年1月から9カ月間、ITU-T標準の普及と利用を推進するため、Webから無償で公開する試行を実施中である。試行後にITU-T標準が無償公開されることになれば、JTC 1の標準の一層の無償公開にも弾みがつくと思われるのでこの試行結果に注目している。

(平成18年12月27日受付)

成田博和(正会員) | narita.hirokazu@jp.fujitsu.com

ISO/IEC JTC 1の対応を含む情報技術に関する国際標準化活動に従事。現在、1997年より情報規格調査会理事。